



初期研修医（2年目）

氏名：齊藤 陵（初期研修医2年目）

出身地：茨城県

出身大学：埼玉医科大学

研修コース：3病院自由選択プログラム

1. 当院を選んだ理由

私が埼玉医科大学総合医療センターを初期研修先として選んだ理由ですが、大学病院でありながら幅広い症例を自ら学ぶ事ができると思ったからです。初期研修先として病院を選ぶ際、大学病院で専門的な症例への理解を深め治療へ結びつける思考力を身につける事、市中病院で common な症例への対応力や手技を身につける事、そういった対極的な目標のどちらを取るかで悩まれる方が多いと思います。私自身も県内、県外の大学病院、市中病院をいくつも見学にいきました。その中で総合医療センターには、大学病院ならではの論理的思考力を養成する場だけでなく、大学病院らしからぬ虫垂炎や気管支炎と言った疾患を学ぶ事、まして当直であれば自らが最前に立ち対応出来る場がある事に気がつきました。また研修先として救急の現場を重視する方もいると思いますが、当院は全国で9番目に認可された高度救命センターを有しており、何も分からない研修医が度胸をつける上ではうってつけであると思います。「うちの病院では対応できないから、もっと専門的な病院へ送ろう」と言った事も、当院の救命センターでは有り得ません。最後まで重症例と向き合う事の大切さ、難しさを学ぶ事ができるのは、こういった施設ならではの強みであると思います。

2. 研修中の感想

研修をしてみて思った事は、指導医の先生方のサポートが充実している事です。「まずは先生が考えてごらん」と研修医に学びの場を提供し、その後しっかりヘルプ、フィードバックをしてくれます。医療の現場は間違いがあってはならない場ですが、最初の2年間のうちから何度冷や汗をかく様な体験が出来るかが大切だと思います。そうやって学んだ事は自分の中に一生残る学びとなります。私も総合医療センターで、指導医の先生方のバックアップのもと、安全に冷や汗モノのリアルな現場を沢山学ぶ事が出来ています。しかし、研修をしてみて1番良かった事は研修医同士仲が良いことだと思います。何でも相談できる同期の存在は私が日々の研修を乗り越えていくうえで大きな支えになっています。

3. メッセージ

まずは病院を見学に来て頂けたらと思います。実際の当院の雰囲気を見て、研修先として是非検討して見て下さい。

また、埼玉県は都心へのアクセスが良いだけでなく秩父の様な自然の美しさに触れる事の出来るとても魅力ある県です。にもかかわらず、人口10万に対する医師数が全国で最も少ない医療過疎の県です。そんな埼玉の医療を支えたいという熱意ある人を当院はお待ちしております！